

議決権行使レポート

証券コード 4208

会社名 UBE

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役6名専任の件			
山本 讓 氏	○		
泉原 雅人 氏	○		
玉田 英夫 氏	○		
石川 博隆 氏	○		
福水 健文 氏	○		
満岡 次郎 氏	○		
第3号議案 監査等委員、取締役3名選任の件			
藤井 正幸 氏	○		
山本 爲三郎 氏	○		
田中 達也 氏	○		

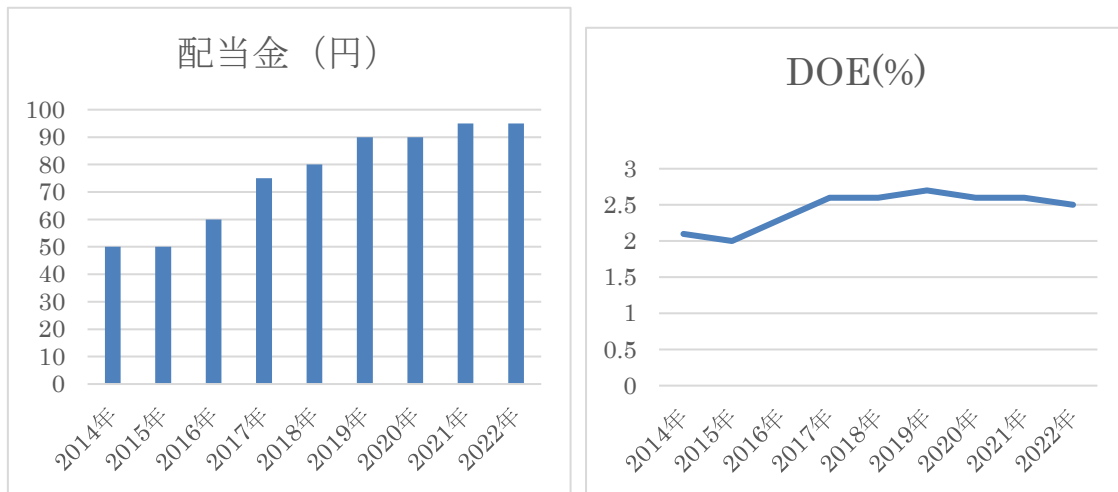
上記の推奨をした理由

【第1号議案について】

普通株式1株につき45円。配当総額は4,366,825.605円

(当期年間配当金は、中間配当金と合わせて1株につき95円となる。)

UBE株式会社の配当金は下のグラフにもあるように年々上昇傾向にあり、株主総会の招集資料にある「自己資本およびキャッシュフローの状況に応じ成長性投資も積極的に行い、将来の株主還元をさらに充実させます。」という言葉をしっかり守っている形である。また、株主配当率も下のグラフにあるように2017年以降2.5%以上を安定して保っている。以上の点から第1号議案について賛成である。



【第2号議案について】

・山本 譲 氏

2015年から代表取締役社長として経営のかじを取り、コーポレートガバナンスを強化してきたUBE株式会社を引っ張ってきたリーダー。2022年UBEはロシアのウクライナ進行に伴う石炭などの価格の高騰でセメント事業などが影響をうけ売上高が減少し当期純利益が赤字になった。責任問題を問う声もあるだろうが山本氏の経験は豊富であり2023年も山本氏が会社に必要な人材であることは間違いない。したがって賛成である。

・泉原 雅人 氏

監査等委員であるものを除く取締役員の候補者の中で山本氏を除き唯一取締役在任期間が複数年あるCEOである。1983年に入社して以降様々な役職に就き幅広く会社に貢献してきた。また1961年生まれと候補者の中では比較的若く、UBE株式会社と特別な利害関係はない。業績が傾いている中で若く経験のある泉原氏の再任は妥当であると考え。したがって賛成である。

・玉田 英夫 氏

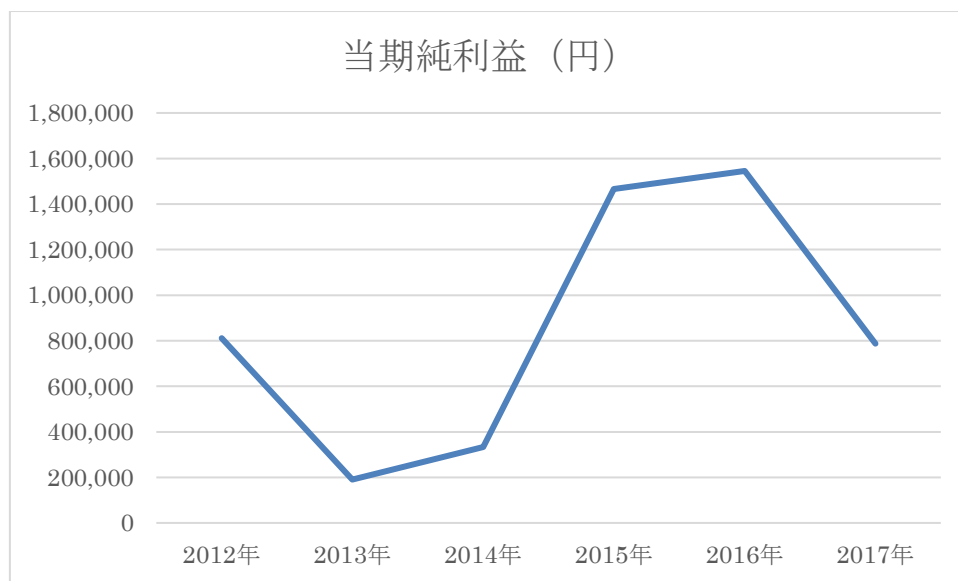
2017年からCRO（チーフ・リスク・オフィサー）、CCO（チーフ・コンプライアンス・オフィサー）としてリスクやコンプライアンスの点でUBE株式会社に貢献してきた。2年連続で赤字にするわけにはいかないため玉田氏の経験はUBE株式会社に必要である。したがって賛成である。

・石川 博隆 氏

1965 年生まれ、所有株式数ともに監査等委員であるものを除く取締役の候補者の中では最も低い数字である。UBE 株式会社に入社してからこれまで重要な役職を担ったことはないが石川氏は化学部門、経営管理部門、人事労働部門など幅広い業務を経験し社内でも顔が広いと思われる。社内における一体感が必要な状況のさなかで石川氏の就任は社内外にいい影響を与えるだろう。したがって賛成である。

・福水 健文 氏

1952 年生まれで年齢は 70 歳を超え今回の候補の中では最年長である。通商産業省（現在の経済産業省を得て、日本アルコール産業株式会社の副社長も歴任した。なかでも特筆すべきは福水氏が日本アルコール産業株式会社に在籍していた頃（2013 年 4 月から 2016 年 6 月）の日本アルコール産業株式会社の当期純利益だ。下のグラフにあるように当初傾いていた業績が大きく立て直されている。勿論福水氏のための功績ではないが経営が傾いている UBE 株式会社にとって当時の日本アルコール産業株式会社を副社長として引っ張っていた福水氏が取締役として会社に貢献してくれるのは素晴らしいことだ。したがって賛成である。



（日本アルコール産業株式会社の当期純利益推移）

・満岡 次郎 氏

満岡氏は株式会社 IHI の社長を経験し、現在会長を務めるなど会社経営のプロであり、株式会社 IHI が安定した業績を残していることから実力が確かである。また UBE 株式会社と IHI 株式会社は化学製品関連で取引があるものの売上高の 1%未満であり特別な利害関係が発生しているとは考えにくく、むしろ同系列の企業ということで満岡氏の手腕を活かすには最高の環境であると思われる。したがって賛成である。

【第3号議案について】

・藤井 正幸 氏

1985年にUBE株式会社に入社して以降、化学部門をはじめ経営管理部門、CFO、経営管理室長など財務戦略も担ってきた。また2019年より4年間取締役として会社に貢献しており経験、実績はともに十分である。これより会社の方向性を正しい方向に導く人材であると思われる。したがって賛成である。

・山本 爲三郎 氏

3人の候補者の中では唯一2022年でも監査等員である取締役の経験がる。また公認会計士試験試験委員を歴任し、慶応義塾大学法学部の名誉教授であるなど社外役員として必要とされる知識をもつ。UBE株式会社と慶応義塾大学、山本氏のあいだに特別な関係がないことは明らかであり、独立していると言える。したがって賛成である。

・田中 達也 氏

富士通株式会社にて代表取締役社長、取締役会長を歴任し、日本金属ホールディングス株式会社の社外取締役も務めているといった点で経験豊富である。また海外事業の経験もありロシア・ウクライナ危機によって悪化した業績を立て直したいUBE株式会社にとって田中氏は持続的な成長に寄与することが期待される。したがって賛成である。

【参考文献】

[UBE中間決算 “セメント事業が影響” 約20年ぶりの赤字 | NHK 山口県のニュース](#)

[企業情報 | 株式会社 IHI](#)

[日本アルコール産業株式会社 j.alco ジェー・アルコ \(j-alco.com\)](#)